

洋書輸入協会会報

VOL. 20

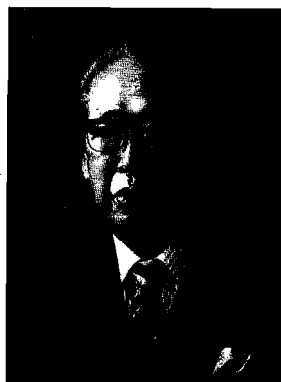
NO. 1

(通巻 225 号) 昭和61年 1 月

謹んで新春の

お慶びを申し上げます

昭和 61 年 元 旦



理事長

飯泉新吾

昨年のわが国の経済動向は景気の回復を実感として受けとめながらも、アメリカの実質経済成長率の減速を懸念材料として、年初の「回復テンポは鈍化する」との判断が事実として示された年であったと考えます。

即ち、昨年4—6月期の実質経済成長率は年率換算で7.9%と回復基調を示し着実な拡大をたどるかに思われましたが、12月に経済企画庁から発表された7—9月期国民所得統計によれば2.6%と低落し、日本経済が減速傾向に転じたことを数字で裏付けております。外需が大きく落込んで成長の足を引張るとともに、これまで成長をリードしてきた国内の設備投資が前年比3.2%の高水準ながら4—6月期の5.2%に比較して鈍化するなど、景気の後退色が強まっております。

成長の鍵を握る輸出は、9月22日のG 5合意に基づく協調介入を契機とした急激な円高の影響で厳しい情勢を迎えており、貿易不均衡の是正問題とあわせて内需拡大が急務となっております。政府は10月に3兆1,200億円の内需拡大策を決定し、その振興への対応を図ることとなりましたが、景気の減速は一層強まるものと判断され、60年度は、政府見通しの4.6%成長は困難との見方もしております。

このような経済環境の中でわが洋書業界をとりまく状況はどうかと云えば、大蔵省関税局発表貿易通関統計で示された昭和59年度の外国出版物の輸入はわずかに2%の増加にとどまり、それに加えて、史上始めて輸出が輸入を上廻った重大な意味をもつ年となり、これらの

新年の挨拶 理事長 飯泉新吾	1
理事会報告	2
年頭所感 (株)紀伊國屋書店	
松原 治	3
おしらせ	3

懇談会報告	4
文化厚生委員会だより	
囲碁クラブ納会の記	4
海外ニュース	4

来日外人名簿	4
洋書輸入協会史 (5)	5
総代理店ご案内	7
広告	8

数字で明らかのように極めて厳しい1年であったと痛感せざるを得ません。

世界的にも出版産業の低迷は底を脱するに至らず、民需の喚起、複写機普及によるコピー問題、活字に替る新媒体への対応なども、明確な回答をだすに至っておりません。従いまして、わが洋書業界への海外からの期待はカルコンでの書籍流通問題の討議で象徴されるように一層高まっていることは、皆様の既にご承知の通りでございます。

洋書需要に極めて大きい比重を占める文教予算の伸び悩み、急激な円高による価格対応など、洋書業界として困難な厳しい状況を如何にして打開して行くか、会員皆様の叡知の結集が現在ほど望まれる時はありません。

緊縮予算下における文教予算増額は甚だ厳しいものと

思いますが、当協会としてはご存知の通り、昨年10月に文部大臣、文部省学術国際局に対し、海外出版物輸入増加のために文教予算増額を陳情し、引続き各方面から働きかけを行っております。また、昨年末開催した懇談会で、各委員会が討議した洋書需要拡大、会員協調のための活動計画が発表されました。こういう揺れ動く情勢の中で、今こそあらゆる方策・機会を把えて、われわれ会員がそれぞれの知恵と努力によって業界としての協力体制を作り上げ、現在の困難な状況を乗り切って行きたいと考えます。

人類の知的資産である学術文献・出版物の輸入・販売を通して、わが国の学術文化の向上に寄与すべく日夜ご健闘されている会員皆様に深甚な敬意を表すると共に業界の一層の繁栄を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

理事会報告

11月26日(火)

(一) 懇談会

12月10日(火)開催予定の懇談会の運営について協議し、前回と同じく総務委員会に司会をまかせ、理事会としての報告を小林英一氏が行なうこととした。

(二) 新年会

1月9日(木)開催予定の新年会は昨年と同じ要領で行うこととした。

(三) その他。

12月9日(火)

(一) 11月分収支計算・予算対比表

事務局長の報告が承認された。

(二) 懇談会

12月6日に開催された総務委員会の報告をきき、12月10日(火)開催予定の懇談会のテーマについて討論した。

(三) 英国出版社代表团

下記のとおり代表团が来日する旨ブリティッシュ・カウンシルから連絡があり、2月13日(木)午後理事会と懇談することとなった。この会合には希望者が出席できるように会員に知らせることとなった。(JBIA No.462 参照)

来 訪 日 程：1986年2月10日(月)～14日(金)

代表团メンバー：Colin Whurr (Leader), Butterworths
Viscount Alexander Macmillan,

Macmillan

Amanda Halstead, Croom Helm

Frances Pinter, Frances Pinter

Tom Davy, Kogan Page

Aidan Reynolds, Bailliere Tindall

Norman Drake, Basil Blackwell

Damian Tunnacliffe, Longman
Group

David Foster (Secretary), Book
Development Council

(敬称略)

(四) その他。

12月16日(月)

(一) 懇談会

12月10日(火)の懇談会には、46社62名の出席者のあったことが報告された。

(二) 調査開発委員会

懇談会での結論にもとづき、新たに調査開発委員会を発足させることとし、その委員の選定を行ない、それぞれに参加についての諾否を問合せ、1月中旬に第一回の委員会を開催することとした。

(三) IFLA 東京大会

国際図書館協会東京大会(1986年8月24日～29日)に際し、8月24日(日)から27日(水)まで国際図書館情報総合展示会が開催されることとなり、それに対する申込みへの勧誘があったことが報告された。

(四) その他。

年頭所感

松原 治

明けましておめでとうございます。

洋書輸入協会員の皆様におかれては今年こそ協会の抱える諸問題を解決してよい年にしたい。その抱負をもって新年をお迎えのことと存じます。

昨年の始めは円安に苦しみました。春から夏にかけ円高となり9月のG5以後急激なドル安、円高に転換しました。

先端産業、輸出産業は昨年来より円高の大きい打撃を受け不況を深刻化しておりますが、我が業界も同様に資料費のマイナス成長、実質消費支出の回復遅れ、加えてソフト化時代への多額な先行投資、値引競争の激化等々と経済状況は厳しさをましており、本年の景気も更に大きく冷え込むと予想されます。

この急激なドル安円高は、我が業界に貿易摩擦ならぬ業界摩擦を生ぜしめました。

昭和16年出版物輸入同業会が設立され、戦後昭和22年再開、以後大学制度の改革、技術革進の需要により各社の企業努力とあいまって成長してまいりました。昭和46年のポンド、昭和48年のニクソンショックで全面的変動相場制に突入し、今日に至っております。

爾来ビジネスの様相は一変し非常にリスクの多いものとなり親睦団体を標榜する我が協会も難問山積の状況にあります。

戦後40年協会の本質的問題点を総決算し今後の協会のあり方を見直すべき重要な年ではないでしょうか。

協会を創立することはやさしい。しかしこれを年とともに発展させ会員の共存共栄をはかることは大変むづかしいことであります。

唐の太宗の時代は世界史でも中国の文物が栄えた誇るべき時代ですが、名君として名高い太宗は或る時功臣達に「創業と守成とはどちらが難しいか」と質問致しました。

総理の魏徴を始め多くの人は「創業は難しいが守成は易しい」つまり事を始めるのは難しいが一旦始めてしまえば後は簡単であると答えました。

しかし房玄齡一人だけは逆の意見で「創業は易しいが守成は難しい」と答えました。

確かに「創業」は無から作る、つまり基がない訳で多くの外の敵と戦う必要がありますが「守成」とは出来上がったものを守ることで内なる敵と戦う必要があります「守成」の方がはるかに困難と云えます。

ドラッカー「イノベーションと企業家精神」では昨日の成果を守ることはイノベーションではない。ところが昨日を守ることの方が明日を創るよりはるかにリスクが多いと述べております。けだし名言で先の太宗の例と同じであります。

会員の皆様の非常な努力により築き上げたこの協会を守成することは誠に難しいことですが、時代の激変に即応出来るよう守成しつつ発展させることなくして我々の将来はありません。

協会の体質強化、大学納入レート、総代理店制等々昨年提起された諸問題を解決するには会員各社の企業努力は云うに及ばず、共存共栄への協調精神、強力なリーダーシップが今正に必要なのではないのでしょうか。

(株式会社 紀伊國屋書店代表取締役社長・理事)

おしらせ

ユニバーシティ・プレス・グループ社は、このたび次の通り社名を変更いたしました。

アメリカン・ユニバーシティ・プレス・グループ

〒140 東京都品川区東品川3-21-18-206

電話 & FAX : (03)450-2857

次の通り就任通知がありましたのでおしらせします。

医歯薬出版株式会社

代表取締役会長 今田喬士

代表取締役社長 三浦裕士

懇談会報告

12月10日(火)2時から、学士会館本郷分館において、前回9月12日(木)の懇談会をうけて、46社62名の参加者を得て、懇談会が開催された。会は総務委員会の栗原光輝(洋販)、松井幸雄(丸善)両氏の司会のもとにすすめられた。小林英一氏(丸善)の挨拶と経過報告ののち、企画渉外委員会(山川隆雄氏—ユサコ)、理事会(小林英一氏)、雑誌委員会(岸恒雄氏—日本出版貿易)、文教委員会(吉本明城氏—紀伊國屋)から、前回の懇談会后それぞれの委員会および理事会において討議した内容について報告があったのち、約10分間の休憩をとった。

再開後の会議では、組織・運営、共同輸入、協会の体質強化と広報活動など5テーマにわけて活発な質疑と応答、討論がおこなわれ、この懇談会における討論・意見をいっそう発展させ、協会の活動をさらに活発にするため、新たに委員会を設置することとなった。まだ論じつくされなかったが、時間切れで5時すぎ閉会となった。6時から同一会場で懇親パーティーがひらかれ、石内茂吉氏(東光堂)の音頭により乾盃したのち、和気あいあいのうちに談笑の輪が会場一面にひろがった。

文化厚生委員会だより

囲碁クラブ納会の記

12月6日に恒例の囲碁クラブ納会が行なわれた。6時から1時間半は碁を打つ。石を持つのは1年のうち、今日と夏の箱根旅行の時だけという名誉会員もけっこう多い。

さて、今回は我が囲碁クラブ時本先生が八段になられたお祝いの会でもあった。先生が初めて当クラブに来ていただいた当時は三段であったから、およそ3倍パワーアップされたことになる。それにくらべて、我々会員の実力のアップはサッパリと嘆くことしきり、せっかくのお祝い会が、会員同志の“慰め会”に一変する始末となる。それにしても会員の数が少なく“相場”にははるかに及ばない謝礼しか払えず、こちらの方も悩みの種である。新会員の入会をお願いしたい。月例会は毎月第1月曜の6時から、高田馬場囲碁クラブで行なっている。ちなみに、本日の出席者は18名で、昨年より若干少なかった。特に常連である当会会長の東光堂書店石内氏、

白鷗洋書の秋山氏、サイテックブックの高瀬氏等々が急用で欠席され残念だった。とりわけ、高瀬氏の欠席で、納会の話題が“高尚”になり、盛りあがりに欠けたことは悔まれることであった。幹事の不徳のいたすところで、お詫び申しあげる。

(三洋出版貿易・中岳記)

海外ニュース

「Bell & Howell 社が UMI 社を買収」

Xerox 社のマイクロ出版部門である University Microfilms International (UMI) 社の買収交渉で、Bell & Howell 社が最有力候補として浮び上って来た。買取価格はキャッシュで1億ドルで、1985年末までに買収が完了する予定となっている。

UMI の売却交渉は、はじめ International Thomson Organization との間で始まり、その後 Elsevier との間で仮の合意に達したものの流産し、結局、今回の Bell & Howell 社との間で原則的な合意をみたもの。B & H 社企業情報部長ダニエル・コリンズ氏によれば、UMI の事業内容は B & H 社の文献保存・複写事業によく適合し、UMI の取得は、マイクロフィルムで提供できる出版点数の増強につながるという。

UMI の買収により、B & H 社は Wallstreet Journal に加え、新たに New York Times をマイクロフィルムで提供する権利を取得することになる。UMI 社はテキスト出版社 Charles E. Merrill 社とならび B & H 社出版グループの一員となる。

BP Report 1985 11月18号から
—(株)紀伊國屋書店提供—

来日外人名簿

- | | |
|-------|---|
| 12月上旬 | Mr. Philippe Nai, Sales Director,
Editions Dalloz, France |
| " | Mr. Nicholas Esson, Sales Manager,
G. Allen & Unwin, U. K. |
| 12月中旬 | Mr. Francois Boirot, Export Director,
Librairie Larousse, France |

洋書輸入協会史 (5)

洋書輸入協会顧問 相良廣明

7. 終戦後から、海外出版物輸入協会の創立まで

7.1 戦中・戦後の生活の糧について

太平洋戦争が始まって以来、昭和24年の再開までは、一切の洋書輸入が途絶していた。その間洋書輸入業者はどうやって生活していたかという、多くは国内の洋書の買い付けと販売、即ち古書業へ転向していた。もともと洋書の輸入業の中には、古書籍もバックナンバーも含まれているので、それについての知識はあった。しかし新本業者と古書業者とは、値付けにおいて基本的な考え方の違いがあり、その点での苦労が多かった。

それでも日本国内に洋古書は豊富にあり、結構商売は出来た。殊にドイツ書が多かった。それというのも、第一次世界大戦後のドイツのインフレの時代に、多くの日本人がドイツに留学し、大量の書籍を購入して日本に持ち帰っていたためである。それが第二次大戦後の日本で、多くの人人の生活の糧となったのは、歴史の巡り合わせという他はない。

7.2 洋書輸入再開への努力

昭和20年(1945)8月太平洋戦争終了、アメリカ軍が各地に進駐し、9月にはマッカーサーのひきいる連合国軍最高司令部(GHQ)が東京に移され、丸の内の第一生命ビルに置かれた。連合国は直接の軍政はしらず、マッカーサーの指令・勧告にもとづいて日本政府が政治を行うという間接統治の方法をとった。

洋書輸入業界でも、丸善を始めとして各社で、或いはGHQを訪問し、或いは日本政府に出掛けて洋書輸入の再開を陳情した。この間の丸善の動向については、丸善百年史下巻及び洋書こぼれ話(Vol. 4 No. 4)の石川実氏の記事に詳しい。

洋書輸入再開への努力について、この石川実氏は次のように語っている。

「戦中・戦後の洋書輸入途絶の間にあって、いかに日本人が洋書を欲しがっていたかは、現在からでは想像がつかない程のものであった。この飢餓状態でもいうべき実情を認識し、何とかその要望にこたえたいと思って、

洋書輸入再開に向け、ありとあらゆる努力を傾注した。」

7.3 同業会再建

この洋書輸入再開への努力は、一方で各社個個に行動しながら、一方で戦後すぐから同業会復活への気運となって盛り上っていった。当時は、日本政府の戦前の主務官庁であった内閣情報局は終戦と共に消滅し、洋書輸入審議会は解散し、陳情しようにも宛先がないような状態であった。GHQ・CIEの方は、戦前・戦中の日本政府とは違って、当りは柔らかであっても、基本的には「賠償の問題すら解決していないのに、洋書輸入の話は先走りし過ぎではないか(CIE Don Brown氏)」という姿勢であった。

このような情勢の中では、「洋書輸入再開のためには団体の力で」という気運になるのも自然の流れであつたろう。それにしても昭和16年の3月に海外出版物輸入同業会が結成されていたことは、この気運の盛り上りに大きな力を与えていた。

戦前の同業会のメンバーが連絡を取り合い、気運が熟した所で、昭和21年(1946)7月11日(休)、中橋の国際ビル3階において終戦後第一回の懇談会が開催された。出席者は、

丸善・南江堂・三省堂・三越・教文館・国際書房・福本書院・金原商店・山川商会

の9社。そしてこの日から丸善田辺寛氏(当時)の議事録記載が始まっている。

当日の議事は次の通り。

- (1) 同業会を存続すべきや否や。——全員存続に賛成。
- (2) 情勢激変により規約変更必要。ただし全面的変更は次の総会にまつこととし、暫定措置として理事を次の4社とする。

丸善(常任理事)、教文館、福本書院、国際書房

- (3) 洋書輸入再開に関し、マ司会部へ陳情書提出の件。——全員賛成

- (4) 会費の件。規約では20円であるが、物価高により臨時に50円とする。

- (5) 出席会員に問い合わせの結果、下記の会員は廃業

(又は休業)したもの認められる。

(註)この会員名は、洋書輸入協会史(3)、(Vol.19 No. 11)の2・3.3項に収録したので省略する。

7.4 海外出版物輸入協会へと名称変更

昭和21年(1946)8月6日の日本経済新聞に、貿易庁がGHQより、国内不足物資で民意による要請度の高いものの輸入申請を提出するよう指令された旨の記事が掲載されたので、理事4社(福本氏欠席、三省堂特別参加)にて同庁を訪問、説明を聞いた。それによると、貿易庁では各業界毎に同庁代行機関を設立するよう指導中であり、洋書輸入業者の代表としての4社に対しても、

(1) 同業会を改組し、現下の情勢に適応した定款を作製せよ。

(2) 名称は協会とした方が良い。

(3) その上で貿易庁の代行機関としての申請をせよ。
との指示があった。

これに基づき、早速定款の草案を作製、8月14日(水)に理事会を開いてこれを検討の上、翌8月15日に貿易庁皆川事務官を訪問、これに目を通して貰い、一部必要な修正を受けた。

翌16日から丸善の小沢・田辺氏が会員を歴訪して草案の了解を求め、8月21日(水)に総会を開く段取りとなった。

7.5 海外出版物輸入協会創立総会とその議事録

8月21日(水)の創立総会については、公式の議事録が作製されているので、その全文を収録する。

記

海外出版物輸入協会創立総会議事録

今回海外出版物輸入同業会会員下記十二名発起人トナリ貿易庁ノ指令ニ基キ海外出版物輸入ニ関スル代行機関設立ノ為昭和二十一年八月二十一日午後二時東京都日本橋区室町一株式会社三越本店ニ相集リ海外出版物輸入協会ノ創立総会ヲ開催ス
丸善株式会社代表者荒川 實代理石川 實司会者ニ推薦セラレ左記事項ヲ附議決定シタリ

一、海外出版物輸入協会定款承認ノ件
右満場異議ナク決定ス

一、役員選任ノ件
右満場一致ヲ以テ左ノ四氏ヲ選任ス

丸善株式会社 代表者 荒川 實

株式会社教文館	同	瀬川 壽郎
株式会社国際書房	同	服部 正喬
福本書院	同	福本初太郎

右理事互選ノ結果丸善株式会社理事長トナル

当日ハ貿易庁皆川事務官ノ御臨席アリ

右議事経過要領ノ結果ヲ確認スル為此ノ議事録ヲ作り
発起人一同之ニ調印ス

昭和廿一年八月廿一日

丸善株式会社	代表者	荒川 實
株式会社教文館	同	瀬川 壽郎
株式会社国際書房	同	服部 正喬
福本書院	同	福本初太郎
合資会社パート商会	同	弘田 親輔
株式会社南江堂	同	小立鉦四郎
三省堂興業株式会社	同	矢野 誠三
株式会社三越	同	松田伊三雄
株式会社金原商店	同	金原 作輔
山川商会	同	山川 隆雄
東光堂書店	同	石内 茂吉
大竹書店	同	大竹 孝吉

以上

なお、総会当日の出席は10社、パート商会と大竹書店とは、委任状による参加であった。

7.6 貿易庁による協会定款の承認と洋書輸入代行機関としての認可

海外出版物輸入協会が、貿易庁により洋書輸入の代行機関として認可されるためには、先ずこの定款を貿易庁へ提出し、その承認を取る必要があった。

そのため、8月23日に貿易庁へそのための申請書を提出、8月26日に、8月21日の日付にさかのぼっての承認を受けた。これにより、海外出版物輸入協会は、洋書輸入の代行機関としての認可を受けたことになる。

貿易庁よりの承認状は次の通り。

21貿第1142号

昭和21年8月21日

貿易庁長官塚田公太 印

海外出版物輸入協会

理事長 荒川 實殿

昭和21年8月21日附を以て申請の貴協定会定款並に役員

選任の件本日附を以て承認する

—以上—

洋書輸入の代行機関としての協会は、形式上は雑貨輸入公団の一部としてその公団の監督を受けることとなり、丸善の田中芳之、田辺寛の両氏が、同公団の名目上の囑託に任命された。

なお、この協会定款は、英訳の上 GHQ 指定の用紙にタイプし、英文 5 通に和文 3 通を加え、同年 9 月 5 日に GHQ への提出用として貿易庁へ提出された。定款英訳の全文も残されているが、その掲載は省略する。

7.7 洋書輸入協会史上における海外出版物輸入協会の位置づけ

昭和21年8月21日の公式議事録では、その日の総会を「海外出版物輸入協会創立総会」として記載している。これだけを見れば、全く新しく協会を創立したようであるが、次の理由によってこの協会は、昭和16年3月に創立した同業会の延長と断定出来る。

- (1) 発起人はすべて同業会会員である。
- (2) 同業会会員の中で参加していない者は、廃業又は休業と見なされた者だけである。
- (3) 定款の附則に、「本定款ノ施行ニ依リ海外出版物輸入同業会ハ解消スルモノトスル」とあり、同業会と協会は連続しているものと見なすことが出来る。
- (4) 英文名は全く同じである。
- (5) この創立総会は、「貿易庁の指令ニ基キ海外出版物輸入ニ関スル代行機関設立ノ為」開催したものであるから、実質的には同業会を代行機関設立の目的に適うように改組したものと考えられる。

なおこの協会は、昭和23年に閉鎖機関とされたため、またまた同業会の名称に戻し、新たに任意団体として再発足することとなるが、これについては後述する。

但今回は、国際書房服部正喬会長、元丸善外国部長石川 實氏より伺ったお話を参考と致しました。

(続く)

総代理店ご案内

(株) 紀伊國屋書店 ☎(03)354-0131
Topos Verlag —LH—
Archiv für die civilistische Praxis.
Vols. 1—149 1818—1944 ¥2,646,000
Schmidt Periodicals —GW—
Metroeconomica.
Vols. 1—32 1949—1980 ¥457,700
Pickering and Chatto (Publishers) Ltd. —UK—
Pickering Masters Malthus.
8 Vols. 1986 ¥126,000
Pickering Masters Darwin.
29 Vols. 1986-1987 ¥474,600
Pickering Masters Babbage.
11 Vols. 1986 ¥176,400
Alecto Historical Editions —UK—
Domesday Book. 1986 Library ed. ca. ¥1,050,000
County ed. ca. ¥1,950,000

北尾書籍貿易 (株) ☎(06)203-5961
Comparative Toxicology Laboratories,
Kansas State University, USA
Veterinary and Human Toxicology
B—MonthlyAir Mail Only ¥16,800

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社 ☎(03)291-4541
Artech House, Inc. (U. S. A.)All books
Harvard Business School Press (U. S. A.) ...All books
Neal-Schuman Publishers, Inc. (U. S. A.) ...All books
Fourth Estate Ltd. (U. K.)All books

下記出版社の代表業務を停止いたしました。
Allyn & Bacon, Inc. (U. S. A.)

"Bibliotheca Shakespeariana"

■マイクロフィッシュ■

B. S. 第 I, II ユニット / 刊行開始!

シェイクスピア生涯研究文献集

SHAKESPEARE: LIFE

(Including Anti-Stratfordian Theories)

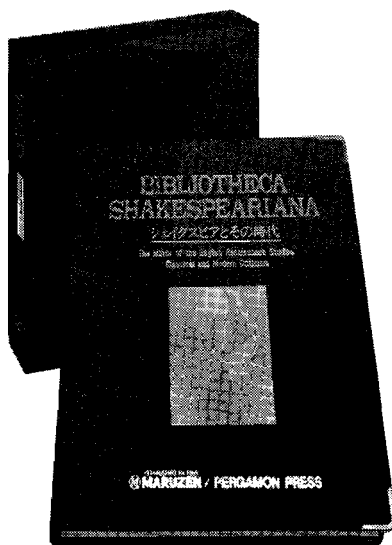
First & Second Units
of Bibliotheca Shakespeariana

Edited by S. Schoenbaum

<好評発売中>

147 titles in ca 650 fiches.

定価 ¥840,000



"Bibliotheca Shakespeariana" (シェイクスピアとその時代) がいよいよ刊行開始を迎え、その第一回配本分(第 I, II ユニット)として "Life" が刊行され、只今好評発売中です。

シェイクスピアの生涯研究では現在世界的權威として自他ともに認める S. Schoenbaum 教授が収録タイトルの選定や編集の任に当り、"Life" の研究に際して必要とされる文献、古書、稀覯書をはじめとする基本的研究書を当ユニット中にあまねく収録しています。当コレクションを、現在最高の知見に基づく "Life" 研究のための精選資料群として、ぜひご購入くださるようご検討をお願いいたします。

(収録タイトル明細を別途用意してございます。)

ご入用の向きは、弊社洋書センター企画開発課までご請求ください。

(共同製作: Maruzen, JPN / Pergamon Pr., USA)

日本総代理店
M 丸善

本社・日本橋店: [〒103] 東京都中央区日本橋2-3-10 ☎(03)272-7211 振替東京7-5番
支店・営業所—東京(お茶の水・丸の内・内幸町・浜松町・北千住・土浦)・新潟・水戸・八王子・甲府・松本・札幌・旭川・仙台・弘前・秋田・盛岡・山形・郡山・京浜・横浜・名古屋・静岡・岐阜・三重・金沢・富山・福井・京都・滋賀・大阪・奈良・神戸・姫路・岡山・松山・広島・山口・福岡(店屋町・天神)・長崎・鹿児島・沖縄・ニューヨーク・ロンドン・シンガポール

昭和61年1月

通巻第225号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル612号室 ☎271-6901

☎530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎371-5329